LONG TERM GOOD RELATION
いちよし証券

2022年３月期第２四半期決算説明会

いちよし証券株式会社
執行役社長
玉田　弘文
2021年11月22日（月）

Ⅰ：決算・業績の状況

2022年３月期第２四半期決算（連結）

※ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。
この変更に伴いまして、「営業収益」につきまして従来開示しておりました数字に修正を加えております。

1．収支の状況

ICHIYOSHI SECURITIES

◆ 営業収益は、前年同期比20億6,500万円（25.6%）増加の101億2,000万円

◆ 経常利益は、前年同期比23億円増加の19億2,200万円

◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比18億4,300万円増加の15億100万円

（単位：百万円）

	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
営業収益	8,055	10,120	25.6%	2,065
純営業収益	8,016	10,096	25.9%	2,079
販売費・一般管理費	8,397	8,260	▲1.6%	▲137
営業利益	▲380	1,836	—	2,216
経常利益	▲377	1,922	—	2,300
特別損益	103	130	26.9%	27
法人税等	67	552	712.9%	484
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲342	1,501	—	1,843

（単位：百万円）

2021/3				2022/3	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
3,811	4,244	4,823	5,391	5,164	4,956
3,792	4,223	4,808	5,375	5,151	4,945
4,174	4,223	4,272	4,266	4,268	3,991
▲381	0	535	1,108	882	953
▲365	▲12	566	1,111	937	985
103	▲0	▲12	▲77	136	▲5
139	▲71	99	144	288	263
▲401	58	454	889	785	715

２．受入手数料の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆ 株券の委託手数料は、前年同期比1億7,600万円（6.8%）増加の27億9,000万円、投資信託の募集・売出し手数料は、前年同期比6億5,100万円（45.7%）増加の20億7,700万円、その他の受入手数料（信託報酬等）は、前年同期比12億8,000万円（41.8%）増加の43億4,100万円

◆ 引受け・売出し手数料は、主幹事2社を含む新規公開企業20社、既公開企業に係る公募・売出しは1社の幹事・引受シンジケート団加入となり、前年同期比0.1%減少の2億3,700万円

（単位：百万円）

	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
受入手数料	7,825	9,804	25.3%	1,978
委託手数料の主な内訳				
株券	2,613	2,790	6.8%	176
募集・売出し手数料の主な内訳				
投資信託	1,425	2,077	45.7%	651
引受け・売出し手数料の主な内訳				
新規公開	159	235	47.5%	75
既公開	78	2	▲97.4%	▲76
計	237	237	▲0.1%	▲0
その他の受入手数料の主な内訳				
信託報酬等	3,060	4,341	41.8%	1,280
信託報酬等以外	291	261	▲10.4%	▲30
計	3,352	4,602	37.3%	1,250

＜参考＞ （単位：億円）

投信募集額	949	1,492	57.2%	542

※ ラップ販売額を含む。

（単位：百万円）

2021/3				2022/3	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
3,689	4,136	4,639	5,142	5,004	4,799
1,260	1,353	1,678	1,734	1,410	1,379
654	771	964	1,051	1,064	1,012
4	155	91	128	211	23
1	76	10	28	0	1
5	231	102	156	212	24
1,467	1,593	1,722	1,897	2,137	2,204
129	161	135	266	132	128
1,596	1,755	1,858	2,163	2,269	2,333

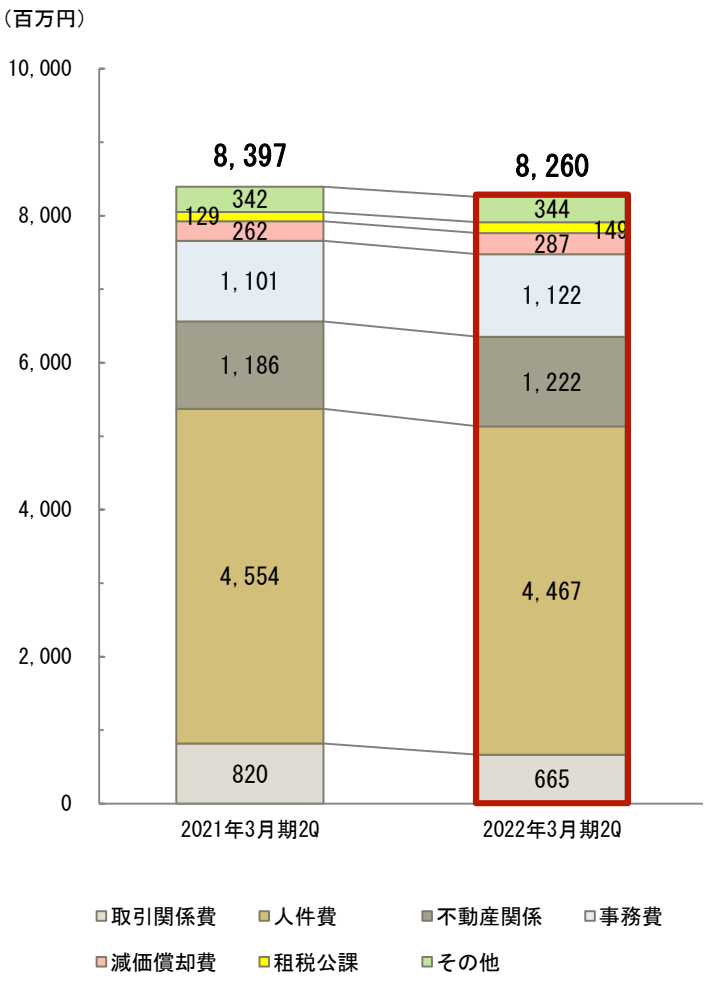
３．販売費・一般管理費の内訳

ICHIYOSHI SECURITIES

◆ 販売費・一般管理費は、取引関係費及び人件費の減少により前年同期比1億3,700万円（1.6%）減少の82億6,000万円

（単位：百万円）

	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
取引関係費	820	665	▲18.9%	▲154
人件費	4,554	4,467	▲1.9%	▲86
不動産関係費	1,186	1,222	3.0%	36
事務費	1,101	1,122	1.9%	20
減価償却費	262	287	9.4%	24
租税公課	129	149	15.9%	20
貸倒引当金繰入	―	0	―	0
その他	342	344	0.5%	1
合計	8,397	8,260	▲1.6%	▲137



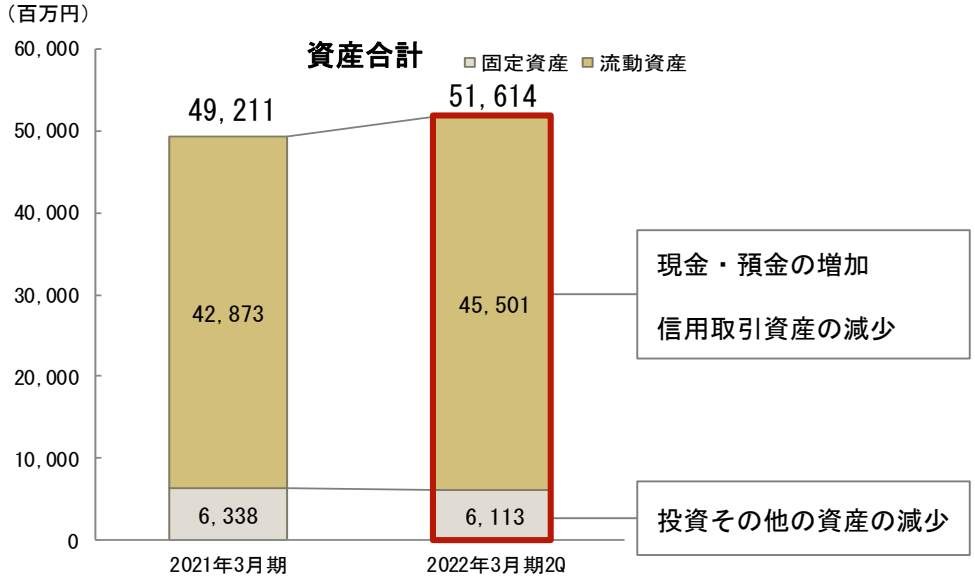
＜参考＞2022年3月期2Q（4～9月累計） 固定費・変動費（単体）

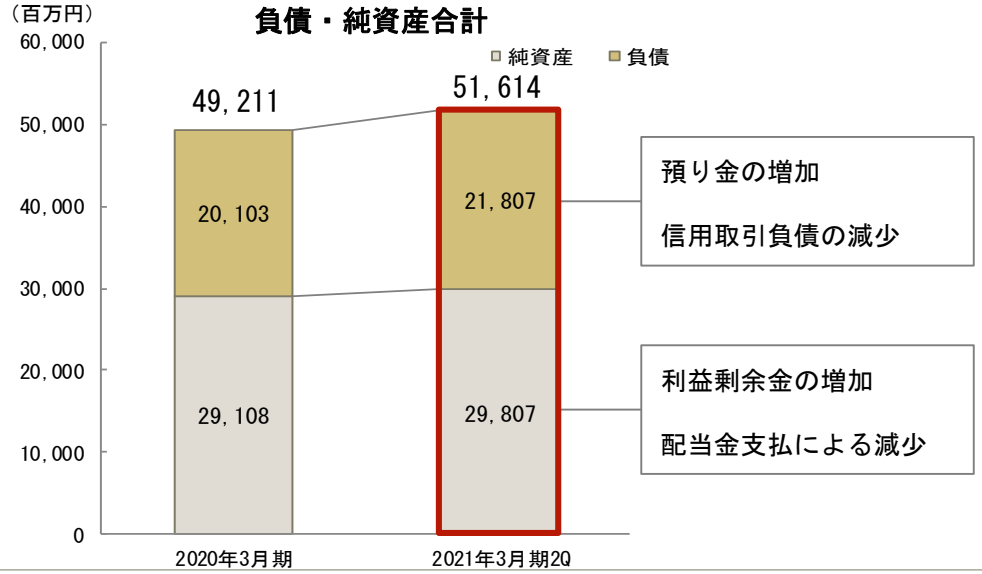
固定費	6,215
変動費	1,616

（単位：百万円）

4．貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表





財務の状況

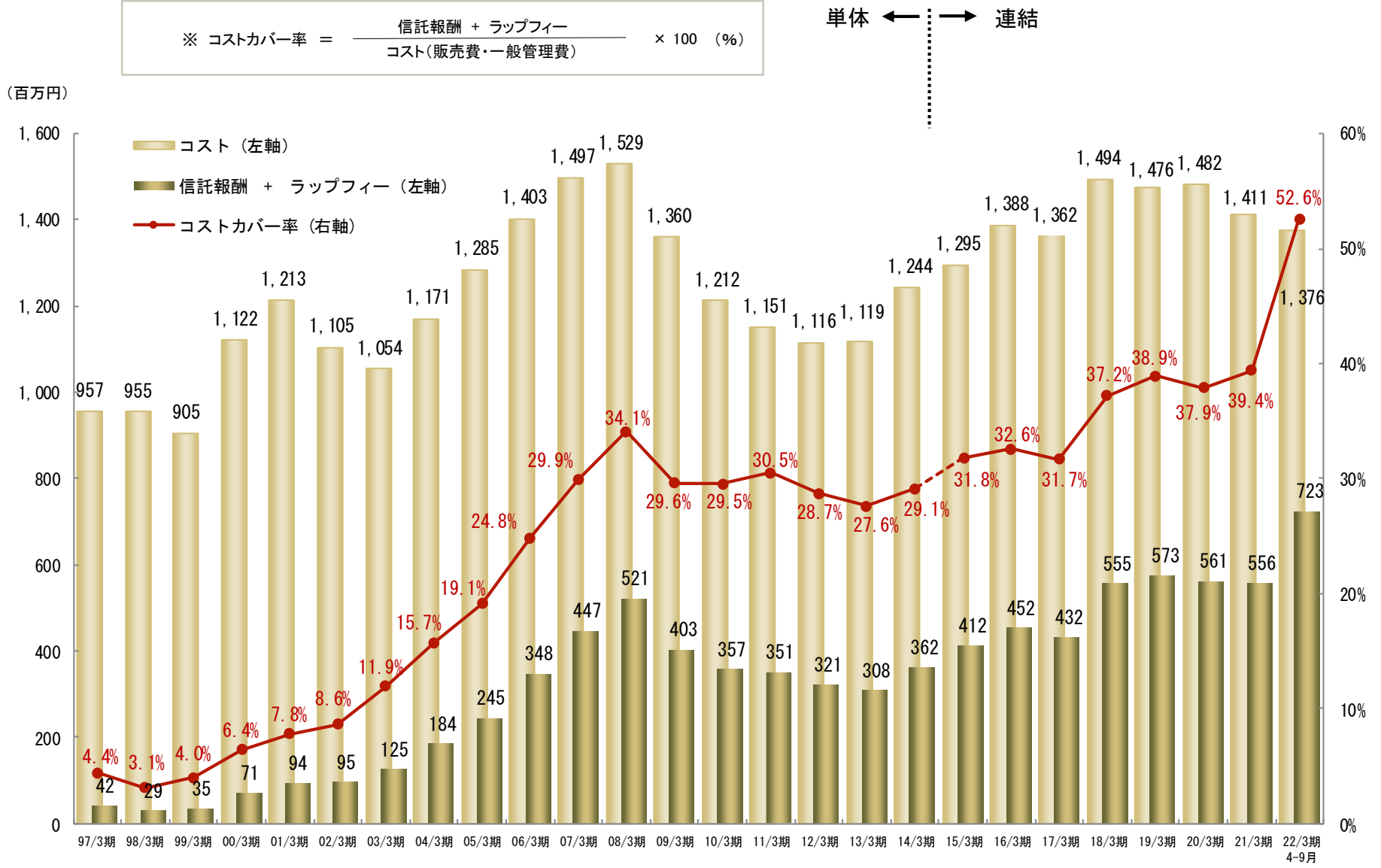
	2022年3月期2Q	前期末比増減
自己資本比率（%）	57.7	▲1.3
1株当たり純資産（円）	825.11	21.04
自己資本規制比率（単体）（%）	498.9	48.8

	2022年3月期2Q	前年同期比増減
1株当たり四半期純利益（円）	41.58	51.10
自己資本四半期純利益率（ROE）（%）	5.1	―

５．信託報酬と販管費カバー率の推移（月額平均）

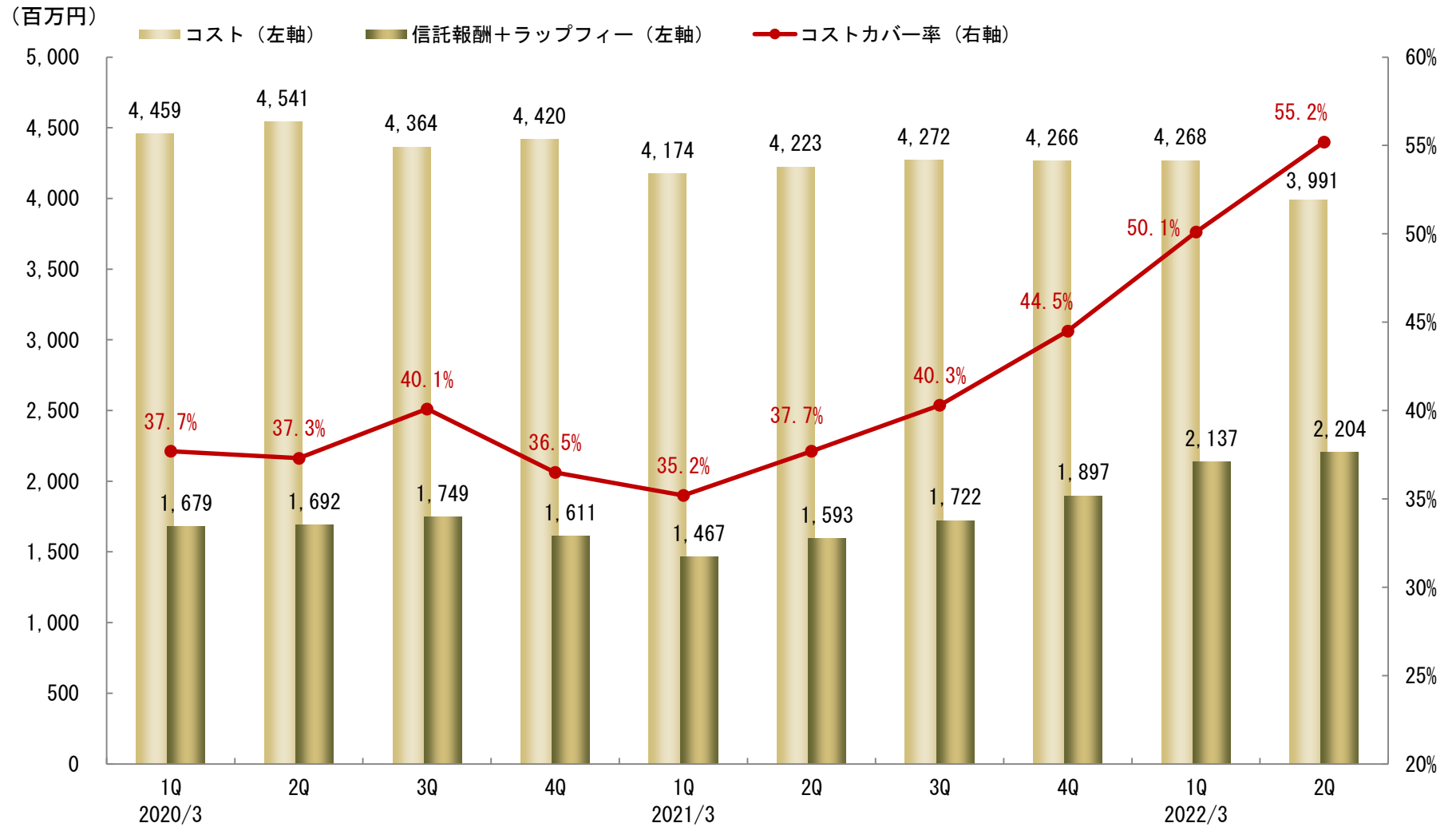
ICHIYOSHI SECURITIES

※ コストカバー率 ＝ （信託報酬 ＋ ラップフィー） / （コスト（販売費・一般管理費）） × 100 （%）

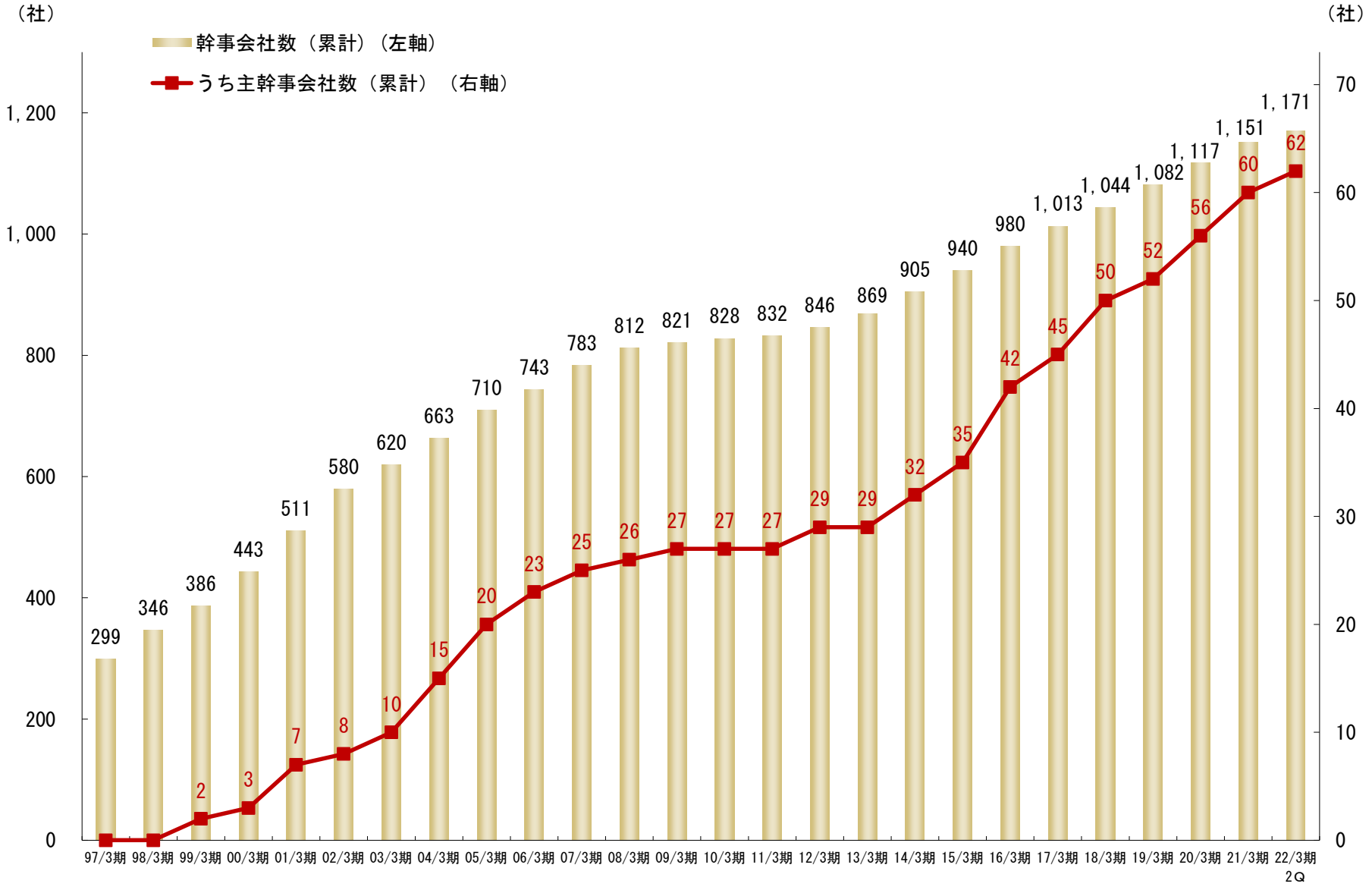


５．信託報酬と販管費カバー率の四半期推移

※ コストカバー率 ＝ （信託報酬 ＋ ラップフィー） / （コスト（販売費・一般管理費）） × 100 （%）

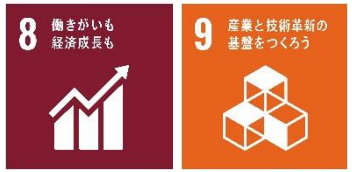


６．幹事会社数の推移（累計）



7．サステナビリティへの取組み

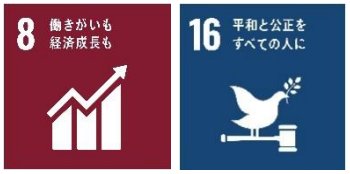
【お客様のために】

取組み	SDGsへの貢献
お客様本位の ストック型ビジネスモデル	 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
売れる商品でも、売らない信念	
お客様独自のオーダーを 仕立てる信念	
経済・金融の変化へ対応 （低金利時代の運用）	
フィンテックの進展への対応 （ハイブリット営業、生産性向上）	
銀行・証券界の変革への対応 （顧客本位の業務運営）	
人生100年時代への対応 （健康寿命伸長での資産管理）	 1 貧困をなくそう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
いちよしSDGs中小型ファンドの 募集	 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術会心の基盤をつくろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう

【社員のために】

取組み	SDGsへの貢献
女性活躍制度・女性管理職登用	 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術会心の基盤をつくろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
職場管理整備 （コミュニケーション・時間管理）	

【株主のために】

取組み	SDGsへの貢献
株主還元の考え方	 8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に
コーポレート・ガバナンス	
指名委員会等設置会社・ 執行役員制度	
コンプライアンス体制	
リスクマネジメント	

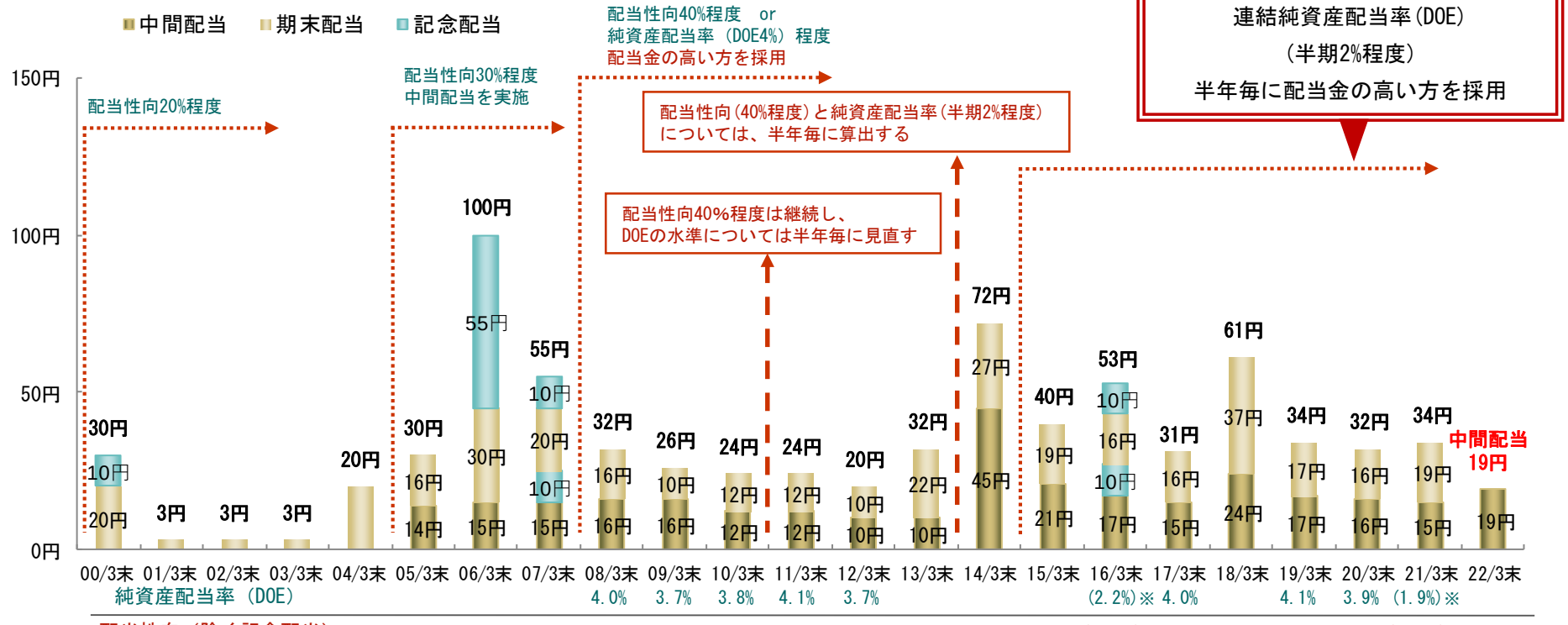
【社会のために】

取組み	SDGsへの貢献
マングローブの森プロジェクト	 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
環境保全 （エコカー・再生紙・冷暖房）	
盲導犬育成プロジェクト	 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう
小児医療プロジェクト	
校舎建設プロジェクト	 4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に

7．サステナビリティへの取組み ― 株主還元

配当の状況

配当額・配当性向等の推移（１株当たり）



※16/3末　中間配当：配当性向、期末配当：DOE
21/3末　中間配当：DOE、期末配当：配当性向
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

自己株式の消却

	自社株式の取得／消却	平均買付単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000　株	264.55　円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200　株	1,032.31　円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500　株	673.03　円	4.2%
2019年1月～2019年6月	2,000,000　株	870.53　円	4.5%

合計　17,497,700　株

（参考）
2019年3月末発行済株式総数　44,431,386株
（うち自己株式　2,635,963株）

2021年9月末発行済株式総数　42,431,386株
（うち自己株式　6,327,637株）

7．サステナビリティへの取組み ― ガバナンス・社会貢献

ICHIYOSHI SECURITIES

当社のガバナンス改革の流れ

2000年3月	配当政策に配当性向を採用
2000年5月	機関投資家･アナリスト向け説明会を開始
2000年6月	「社外取締役」の導入
2000年6月	個人投資家向け説明会を開始
2001年6月	株主総会の土曜日開催
2002年6月	株主総会後に株主懇談会を開催
2003年6月	現在の指名委員会等設置会社に移行
2004年～	継続的な社会貢献活動を開始
2005年6月	「内部統制委員会」設置
2005年6月	株主総会をホテルで開催
2005年7月	海外IRを開始
2006年2月	「社外専門家委員会」設置
2006年3月	いちよしの「クレド」制定
2008年3月	配当政策に純資産配当率(DOE)の併用を採用
2009年2月	「執行役員制度」を導入
2015年3月	配当政策を連結配当性向50%程度又はDOE半期2%程度のいずれか高い方を採用する方式に変更
2019年2月	「執行に従事しない取締役の会議」 「独立社外取締役の会議」設置

人材の多様性の確保

＜管理職に占める中途採用者の割合＞

2015年3月末	49.0%
2016年3月末	49.2%
2017年3月末	51.2%
2018年3月末	51.2%
2019年3月末	53.7%
2020年3月末	52.0%
2021年3月末	47.5%

＜管理職に占める女性の割合＞

2015年3月末	5.8%
2016年3月末	8.5%
2017年3月末	8.7%
2018年3月末	9.4%
2019年3月末	9.8%
2020年3月末	11.6%
2021年3月末	15.3%

社会貢献活動



校舎建設プロジェクト

東アジアに8ヵ国
12校建設
(1996年～2021年3月現在)



いちよしマングローブの森プロジェクト

累計植林数
約400,000本
(2009年～2021年3月現在)
※「気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト」
2015年より同時進行中



人道医療支援プロジェクト

小児用予防接種ワクチン
約885,000人相当
(2009年～2021年3月現在)



いちよし盲導犬育成プロジェクト

盲導犬
7頭がデビュー
(2005年～2021年3月現在)

中期経営計画『 アタック３ 』

「ストック型ビジネスモデル」の確立

	2020.3	2021.9	2023.3
預り資産	15,360	20,461	30,000
株式	7,382	10,197	14,200
投信	6,301	7,897	13,200
ドリコレ	1,075	1,740	2,000
債券（その他）	601	626	600
ROE	-%	5.1%（半期ベース）	15%程度
主幹事会社数	56社	62社	80社
ｺｽﾄｶﾊﾞｰ率	36.5%（四半期ベース）	52.6%（半期ベース）	60%

（単位：億円）

Ⅱ：今後の経営戦略

ICHIYOSHI SECURITIES

2021年度上半期

「改革の断行 ～継続・貫徹～」

●投信純増と資産拡大 ●既得意顧客数の拡大

- 意味のある訪問外交
- T-port受入から稼働
- スリープ稼働の活性化
- 新規開拓の再構築

2021年度下半期

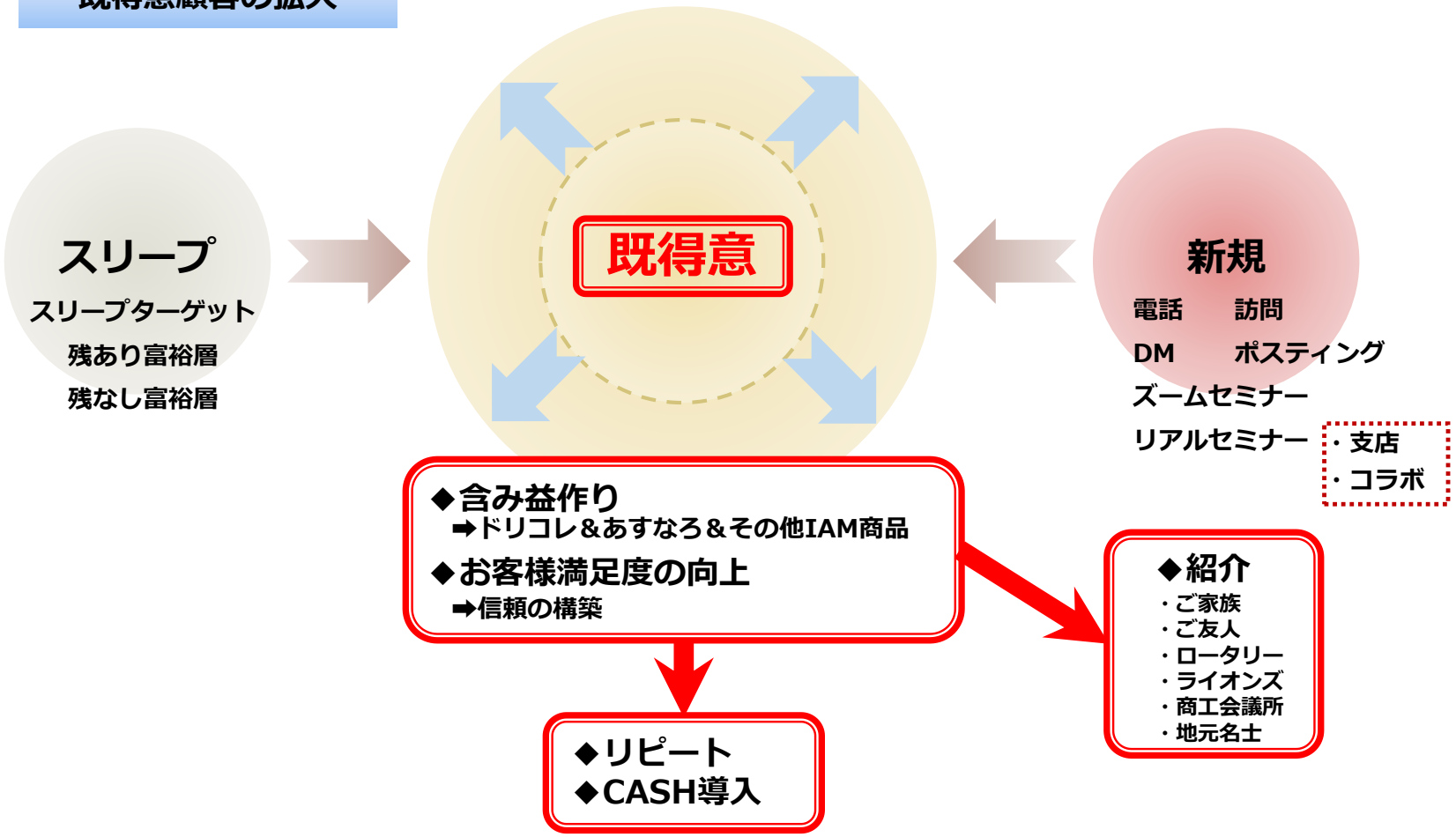
「改革の断行 ～続投～」

●ドリコレ純増と投信純増 ●既得意顧客数の拡大
＝（真水の注入）

- 意味のある訪問外交
- T-port受入から稼働
- スリープ稼働の活性化
- 新規開拓の再構築（紹介＆セミナー活用）

意味のある訪問外交ターゲット先

既得意顧客の拡大



意味のある訪問外交件数「日々5件以上」・T-port受入・稼働

ICHIYOSHI SECURITIES

5つのMission

1. 意味のある訪問外交件数の目標「日々5件以上」「週間25件以上」
2. 個々のお客様のお話に徹底的に耳を傾けることから外交は始まる
3. お話をよく聴き、アドバイスを行ない、商品をお勧めすることが外交
4. 日々、外交で得たお客様からの情報を記録し、次の外交に活かす
5. ★重要な見込みのお客様には、少なくとも２週間に一度はお会いする

個々のお客様にとって最良なことは、何かを常に考え、
そして具体的に実行し、「貯蓄から投資へ」を推進する

訪問外交平均件数の推移（21/8末）

対象	20/10	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8
総数	6.0件	5.4件	6.5件	6.4件	6.3件	6.5件	6.4件
ｽﾘｰﾌﾟ	1.8件	1.8件	2.0件	2.0件	2.0件	2.0件	2.0件

5つのMission

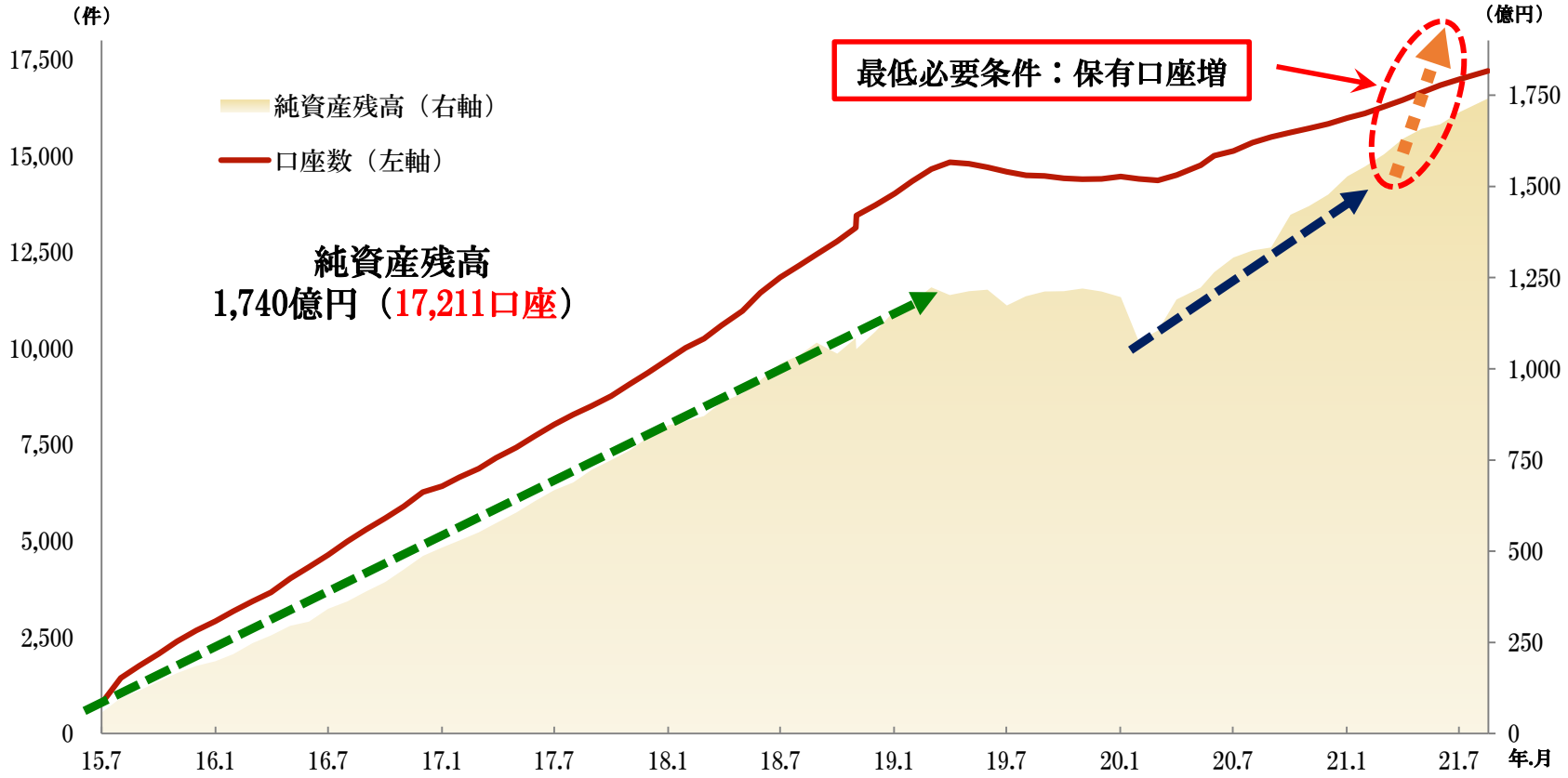
1. 意味のある訪問外交件数の目標「日々5件以上」「週間25件以上」
2. 個々のお客様のお話に徹底的に耳を傾けることから外交は始まる
3. お話をよく聴き、アドバイスを行ない、商品をお勧めすることが外交
4. 日々、外交で得たお客様からの情報を記録し、次の外交に活かす
5. 重要な見込みのお客様には、少なくとも２週間に一度はお会いする

個々のお客様にとって最良なことは、何かを常に考え、
そして具体的に実行し、「貯蓄から投資へ」を推進する

T-port受入・稼働件数の推移（21/8末）

年月			20/10	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8
管理口座			192,601	191,149	192,201	191,967	191,154	190,220	192,590
	T-port受入	件数	25,098	29,902	31,505	32,861	34,316	35,582	37,137
		比率	**13.0%**	**15.6%**	**16.4%**	**17.1%**	**18.0%**	**18.7%**	**19.3%**
	稼働	件数	3,882	12,662	14,207	15,482	17,004	18,279	19,363
		比率	**15.5%**	**42.3%**	**45.1%**	**47.1%**	**49.6%**	**51.4%**	**52.1%**

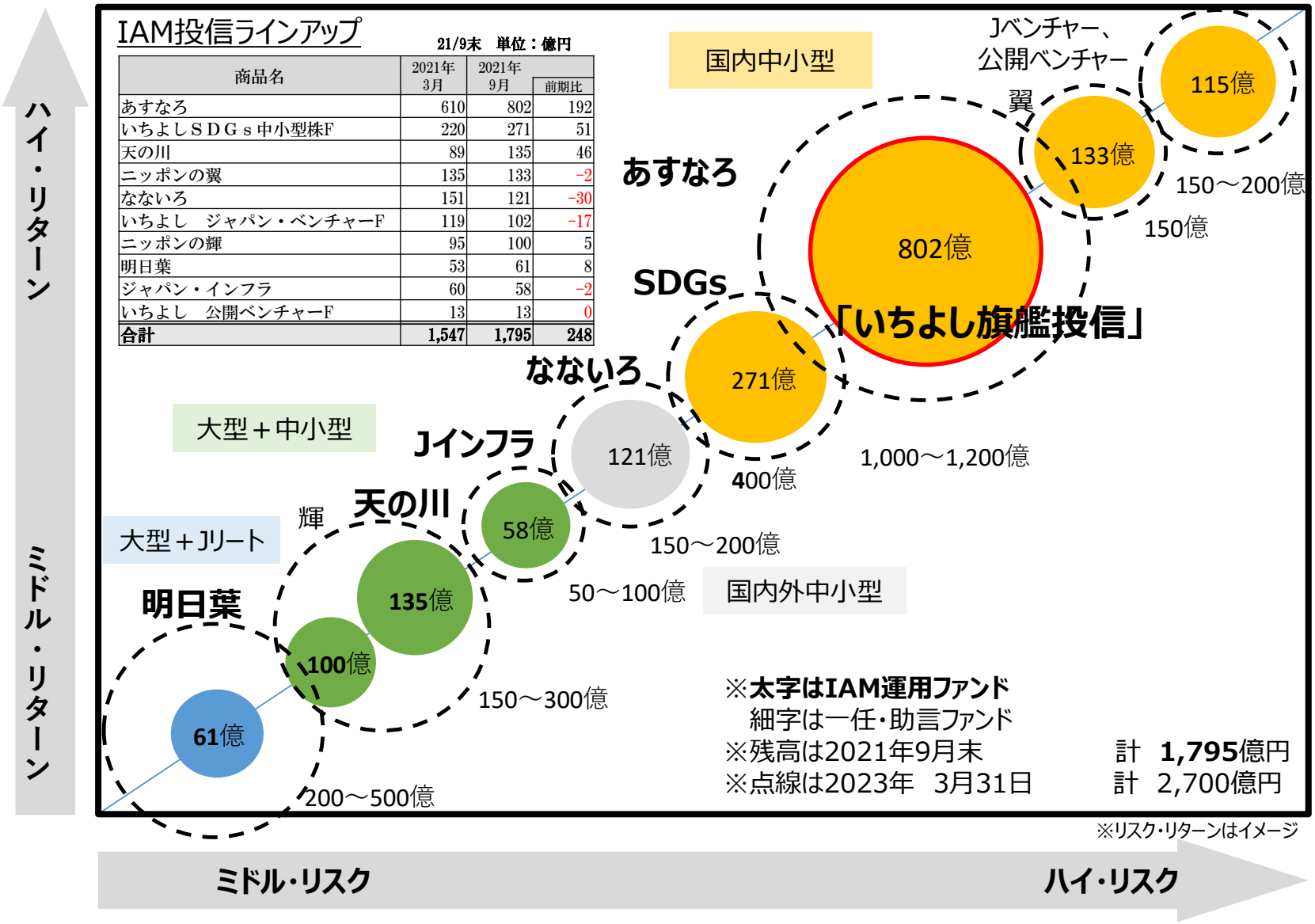
ドリコレ口座・残高推移（全社、21/9末）



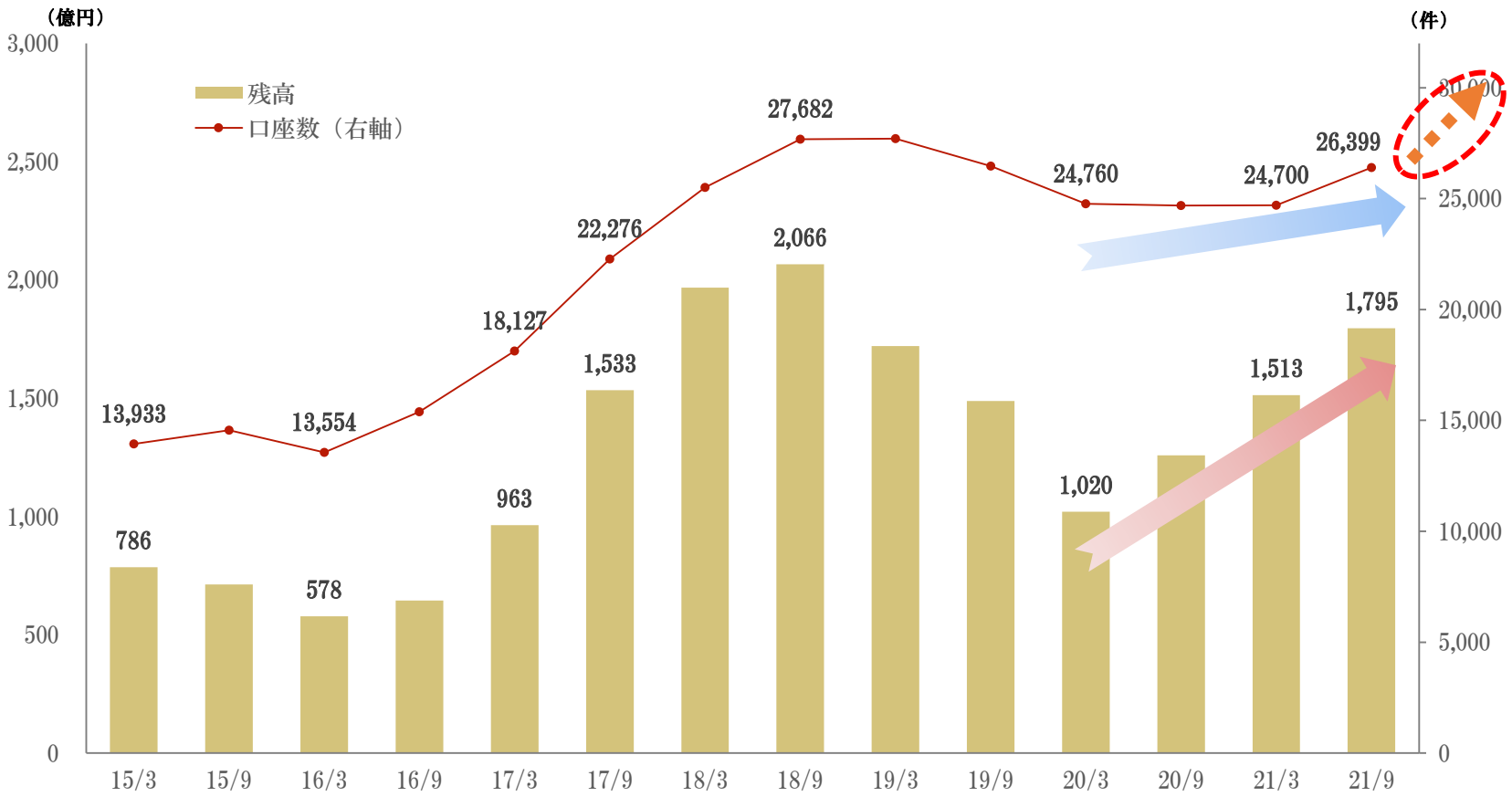
残有富裕層のドリコレ保有比率推移(支店のみ、21/9末)

16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/9
4.3%	8.3%	12.0%	16.3%	16.0%	18.2%	19.7%

ICHIYOSHI SECURITIES



IAM投信の口座・残高推移（全社、21/9末）



残有富裕層のIAM投信保有比率推移(支店のみ、21/9末)

17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/9
18.2%	25.3%	26.8%	22.7%	23.7%	25.9%

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝　誠実　勇気　迅速　継続

Long Term Good Relation

社員のために
社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神
情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい
チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

お客様のために
一人、一人の『いちばん』でありたい

お客様第一
常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

良質なサービス
社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

株主のために
持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元
事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示
経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

社会のために
金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任
法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献
企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



問い合わせ先　　いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-4346-4512　FAX：03-4346-4513

https://www.ichiyoshi.co.jp

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2021年9月30日現在のデータに基づき作成しております（百万円未満切捨て表示）。

商号等　：いちよし証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会